

薄膜太陽電池共同出資会社の設立協議を開始
三洋電機、新日本石油共同プロジェクト



記者各位

三洋電機株式会社(本社:大阪府守口市、社長:佐野精一郎)と新日本石油株式会社(本社:東京都港区、社長:西尾 進路)は今後市場が拡大することが予想される薄膜太陽電池の分野で、事業化に向けた共同出資会社の設立について、今後、具体的な協議を開始することを、本日、相互に確認致しましたのでお知らせいたします。

薄膜太陽電池は、現在市場が急拡大している太陽電池の中でも、最も安価なコストの実現が見込まれる太陽電池であり、既存の太陽電池メーカーだけでなく、異業種からの参入が急増しています。

三洋電機は、現在世界最高レベルのセル変換効率を実現するHIT太陽電池※を製造販売しておりますが、さらなる太陽電池事業の拡大を図るために、従来より薄膜シリコン太陽電池の技術開発を進めて参りました。HIT太陽電池に関しては、今後とも三洋電機単独での事業拡大を推進して参りますが、薄膜太陽電池に関しては、今後早期に主力事業に育てるために必要な技術、投資を考慮し、同事業を次期事業の柱のひとつとして検討している新日本石油との共同出資会社設立について検討を進めることと致しました。

新日本石油は、総合エネルギープロバイダーとして燃料電池、太陽電池、蓄電池等新エネルギー関連事業を次期事業の柱の一つと位置づけております。低発電コストを実現する薄膜シリコン太陽電池を安定調達し、国内大規模発電や公共産業向けの用途開拓ならびに住宅用途への投入を推進したいと考えており、同太陽電池で既に技術を有する企業との協業が必要であるとの判断から、三洋電機との共同出資会社の設立について検討を進めることと致しました。

三洋電機と新日本石油の両社は、こうした両社の持つ事業戦略とリソースを背景に、高性能・低コストの薄膜太陽電池の2010年度中の事業化を目指して、2009年4月の共同出資会社の設立に向け、詳細の検討に入ります。

※HITはHeterojunction with Intrinsic Thin layerの略。

HIT太陽電池は、三洋電機が開発した独自構造の太陽電池セルで、結晶シリコン基板とアモルファスシリコン薄膜を用いて形成したハイブリッド型。高変換効率・温度特性等の優位性により、設置面積当たりの発電量世界 NO.1(2008年9月30日時点)を誇るものです。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

三洋電機株式会社 コーポレートコミュニケーション本部広報部 TEL:06-6994-3546

新日本石油株式会社 広報部広報グループ TEL:03-3502-1124